



平成23年創始 武州狭山発祥
同人結社 鬼姫狂団世界総本部
偶像即神 萌燃一体 活劇至上 重心回歸
<https://www.onihimekyo.com/>

空想靈武劇®「鬼神童女遊侠伝®／煎餅妬みの鹿男」

鹿男「（仮）
「鬼神童女遊侠伝／煎餅妬みの
空想靈武劇®

作・民富田智明



○粗筋
 へ背景設定へ
 武州西部入間地方には「武州鬼姫信仰」が
 伝承されていたが、失伝し、民衆の記憶から
 忘れ去られてしまっていた。
 武州秩父の鬼姫山に住んでいる「花吹雪の
 お凜」と名乗る勇猛で可憐な童女姿の鬼神様
 は、山狗の「遠吠えの牙吉」、山鴉の「夜鳴
 きの飛丸」をお供に従え、「武州総鎮守」と
 して邪悪な妖賊から民の暮らしを見守ってい
 た。だが、山奥では何かと不便も多かった。
 そこで、お凜様は、「熊男事件」をきっかけ
 に縁ができた堅気の侠客「関東入間屋一家」
 の家族神となり、鬼姫山の出先機関とした。
 「関東入間屋一家」の初代「入間原堅次郎」
 の妻にして旅館の若女将をして、「入間原
 清子（旧姓春小路）」は、「熊男事件」でお凜
 様と同化して以降、お凜様の世を忍ぶ仮の姿
 とし、活動するようになった。
 清子は、お凜様の一心同体として、人知れ



平成23年創始 武州狭山発祥
同人結社 鬼姫狂団世界総本部
偶像即神 萌燃一体 活劇至上 重心回歸
<https://www.onihimekyo.com/>

空想靈武劇®「鬼神童女遊俠伝®／煎餅妬みの鹿男」

○
登
場
人
物

ま 事 止
で 件 お め
安 を 凜 て
全 解 様 鹿
安 決 は 男
心 し 、 を
を た 。 重 倒
最 。 傷 し
優 お の た
先 凜 堅 。
に 様 次
旅 は 郎
客 清 を
運 子 靈
行 に 泉
を 戻 酒
果 り で
た 、 治
し 最 癒
た 後 し
。 、



鬼神童女・花吹雪のお凜（9）武州総鎮守秩父鬼姫山三代目。関東入間屋一家の家族神。「熊男事件」で入間原清子と同一化し、普段は清子として暮らしている。外見年齢や容貌、体格を自由に変えられ、八人まで分身を作り出すこともできる。地獄の獄卒の頭領であり、独断で「地獄落とし」をする権限がある。浄土を仕切る阿弥陀如来、観音菩薩、勢至菩薩の化身である。とされる。

山狗・遠吠えの牙吉（？）お凜様のお供。普段はぬいぐるみに擬態して清子の鞆にぶら下がっている。

山鴉・夜鳴きの飛丸（？）お凜様のお供。普段はぬいぐるみに擬態して清子の鞆にぶら下がっている。

入間原清子（18）関東入間屋一家初代姐で旅館の若女将。地元バス会社の観光案内人としても働いている。旧姓春



件に巻き込まれることが多いが、抗
 「特攻戦士神風」となる。なぜか事
 託宣により悪党退治専門の掃除屋
 ら、侠客として覚醒する。お凜様の
 の王子事件「に巻き込まれたことか
 の一般人だった。登山中に「白馬
 としても働いている。抗争は無縁
 旅館主だが、地元バス会社の運手
 堅次郎（39）関東入間屋一家初代。
 インゆえに壮絶な経歴の持ち主。
 き込まれて両親を失ったり、ヒロ
 襲われたり、脅征会の報復抗争に巻
 その後、透明人間「見えない敵」に
 救われたこと。恋をして結婚した。
 また同居合わせた登山中の堅次郎に
 として山奥へ誘拐されたところをた
 姦ビデオ「お姫様ごっこ」の被写体
 構成員「白馬の王子と騎士団」に強
 高校時代に広域暴力団関東脅征会
 小路。名門武家春小路家の一人娘で、



○
紙
芝
居

（ 2 5 3 0 ）
 他、乗客のアイドルファンクラブメンバー
 マネージャー（2530）
 子役少女達（79）
 鹿男の手下達（？）鹿男の劣化コピー。
 妖賊鹿男（？）奈良の鹿を妬んで武装煎餅強
 盗になり果てた秩父の鹿。
 で済まされる。
 争のすべてが「緊急避難」「正当防衛」



堅 ○ 堅 ○ ○ 清
 次 山 次 観 山 子
 郎 間 郎 光 間 子
 「 堅 の 堅 「 バ 進 の 揺 突 か
 何 次 の 次 確 ス 路 の 路 如 ？
 か 郎 道 郎 か ・ 先 の 路 急 ？
 あ が 路 郎 が め 車 謎 の 路 急 ブ ？
 っ 男 の 扉 て 内 謎 の 男 が 停 止 を 促 し て いる 。
 た の と け て バ ス を 降 り て い く 。
 ん と こ ろ に 歩 い て い く 。
 で こ ろ に 歩 い て い く 。
 す か ？
 「

入 間 原 堅 次 郎 (3 9) が 運 転 し て いる 。
 清 子 が 乗 客 の 前 で マ イ ク を 持 っ て いる 。
 乗 客 は 、 子 役 少 女 8 人 (7 9) と マ
 ネ ー ジ ャ ー (2 5 3 0) 、 フ ァ ン ク
 ラ ブ メ ン バ ー 達 (2 5 3 0) 。

皆 様 、 今 回 の 旅 は お 楽 し み 頂 け ま し た
 。

か ？ 駅 ま で ご ゆ っ く り と お 休 み 下 さ い 。

揺 ら れ る 乗 客 達 。 清 子 も し が み つ く 。

進 路 の 先 で 謎 の 男 が 停 止 を 促 し て いる 。

観 光 バ ス ・ 車 内
 堅 次 郎 が 扉 を 開 け て バ ス を 降 り て い く 。

山 間 の 道 路
 堅 次 郎 が 男 の と こ ろ に 歩 い て い く 。



お	○	お	鹿	お	清	清	鹿	清	鹿
り	山	凧	男	凧	子	子	男	子	男
お	間	様	「	様	「	「	「	「	「
っ	の	「	鬼	「	驚	お	清	鬼	清
て	道	が	神	武	愕	凧	子	神	子
！	路	お	童	州	の	様	が	童	相
		凧	女	只	声	「	一	女	手
煎		様	だ	今	を	9	瞬	変	が
餅		と	と	参	上	「	に	化	妖
強		鹿	？	上	げ	に	し	！	族
盜		男	何	！	る	て	て	「	な
な		が	故	「	乗	鬼	鬼	を	ら
ん		対	バ	ズ	客	神	神	決	、
ぞ		峙	ス	を	達	童	童	め	手
恥		し	ガ	決	。	女	女	る	加
晒		て	イ	め		・	・	。	減
し		い	ド	る		花	花		な
な		る	に	。		吹	吹		し
！		。	！			雪	雪		よ
「		堅	外			の	の		！
		次	に						「
		郎	！						
			「						



○ 山間の道路 鹿男 がお凍様が鹿男を引きずり出していく。

鹿男 「ぐおおっ！」

お凍様 「お凍様が駆けつけ、鹿男を背後から突

お凍様 「マネー！おっ！」

少女達 「まは、その小娘からだ！」

鹿男 「乗客達の悲鳴。」

鹿男 「おめえら、皆殺しだ！」

○ 観光バス・車内

お凍様 「立ち上がって追いかける。」

鹿男 「乗客を道連れにしてやる……」



お		お		鹿	お	鹿	お												
凜		凜		男	凜	男	凜												
様		様		「	様	「	様												
「	傍	お	「	奥	上	鹿	ぐ	お	「	鹿	く	お	「	跳	お	鹿	お	鹿	お
あ	ら	凜	地	で	げ	男	あ	凜	で	男	、	凜	必	躍	凜	男	凜	男	凜
に	で	様	獄	、	な	が	あ	様	り	が	く	の	殺	し	様	が	凜	は	様
い	、	が	で	牙	が	花	あ	が	や	身	そ	刀	、	て	が	吹	が	倒	が
！	倒	血	悔	吉	ら	吹	あ	鹿	あ	構	が	が	花	、	一	っ	れ	る	が
「	れ	振	い	、	倒	雪	っ	男	あ	え	あ	閃	吹	抜	度	飛	を	が	バ
	て	り	改	飛	れる	の	！	を	あ	る	あ	光	雪	刀	納	んで	思	、	ス
	苦	し	め	丸	。°	よ	「	脳	っ	。°	っ	す	！	す	刀	で	い	す	か
	し	て	よ	が	に	う	天	天	！	！	！	る	は	。°	し	倒	切	ぐ	ら
	み	納	！	手	激	に	か	か	「	「	。°	あ	あ	。°	て	り	り	に	鹿
	続	刀	「	下	し	に	ら	斬			あ	あ	あ	。°	駆	蹴	蹴	起	男
	け	す		を	い	に	斬	り			あ	あ	あ	。°	け	り	り	き	を
	る	。°		倒	血	に	り	下			っ	っ	っ	。°	出	飛	飛	上	突
	堅			す	飛	に	ろ	ろ			！	！	！	し	、	ば	ば	が	き
	次			。°	沫	に	す	す			「	「	「	高	く	す	す	る	飛
	郎				を	を	。°	。°						く		。°	。°	。°	ば
																			す



○ 山間の道路が走って行く。

乗客達「鬼はくうち、福もくうち！」

少女達「鬼はくうち、福もくうち！」

で安全安心を最優先に運行して参ります」

が及ばなかつたことが幸いです。皆様に被害

まいったことをお詫び致します。皆様に被害

清子「乗客の皆様、予想外の事態が起きてし

清子が乗客の前でマイクを持っている。

平然と堅次郎が運転している。

○ 観光バス・車内

り傷が治っていく。

に霊泉酒を振りかける。湯気が上が

お凜様「すぐに治しちゃる！」

お凜様が瓢箪水筒を手に取り、堅次郎

完